テクノロジー
-サステナブル時代のデジタル社会-

SVPインサイトVol. 16から18を通して、IT環境の進化、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)とビッグデータについて考察してきた。

それらのテクノロジーの進化は、膨大な情報の収集・蓄積・処理・分析・活用を可能にしており、それは、リアルタイム性の高い高度な個別最適化されたサービスの提供へとつながっている。

フィンテックやヘルステックなどのクロステック・ソリューションがその代表例であるが、近年はサステナビリティー関連やポストコロナ社会でのデジタル活用が注目されている。

■ スマートシティによるサステナブルなまちづくり

サステナブル社会の実現に向けたマイルストーンのひとつであるSDGsにおいて、エネルギーや社会インフラ、まちづくりにも言及されており、効率的で持続可能な生活環境を整備することが求められている。環境や技術革新、情報技術、エネルギーなど多岐に渡る事項に関係しているのが、スマートシティである。

> スマートシティとは、
> ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント(計画、整備、管理・運営等)の高度化により、
> 都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、
> 持続可能な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場。
> 出所:内閣府(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/smartcity/)

国内においても、2010年頃から、地方自治体と企業が参加したスマートシティプロジェクトが展開されている。そのひとつが横浜スマートシティプロジェクトであり、2010年から実証実験が開始され、2015年からは実装フェーズへと移行している。

IoTセンサーやAIカメラ、スマートグリッド技術などから情報を収集・分析することで、エネルギーマネジメントやCO2排出で成果を上げているようだ。

横浜以外でもいくつかプロジェクトは進行中であり、地方自治体とプロジェクトマネジメント会社が中心となり、インフラやテクノロジーなどの様々なソリューションプロバイダーが参画している。

【スマートシティプロジェクト例(横浜スマートシティプロジェクト)】

出典:横浜スマートシティプロジェクトHP情報に基づきSVPジャパン作成

© SVP Japan All rights reserved.

■ ポストコロナ社会でのデジタル活用

スマートシティは、十年スパンの超長期プロジェクトであるのに対して、インシデント発生後、短い期間でデジタル投資が進んでいるのが、コロナ禍/ポストコロナ社会向けのソリューションである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、私たちは人との接触を減らし、デジタルを活用した安心・安全で、利便性・効率性の高い生活環境を求めるようになった。

■ 就業環境のデジタル化

その代表例が、仕事におけるリモートワークとオンライン会議の一般化や、電子契約の利用の拡大と言える。それら以外にも、就業環境において、様々な取り組みがなされている。

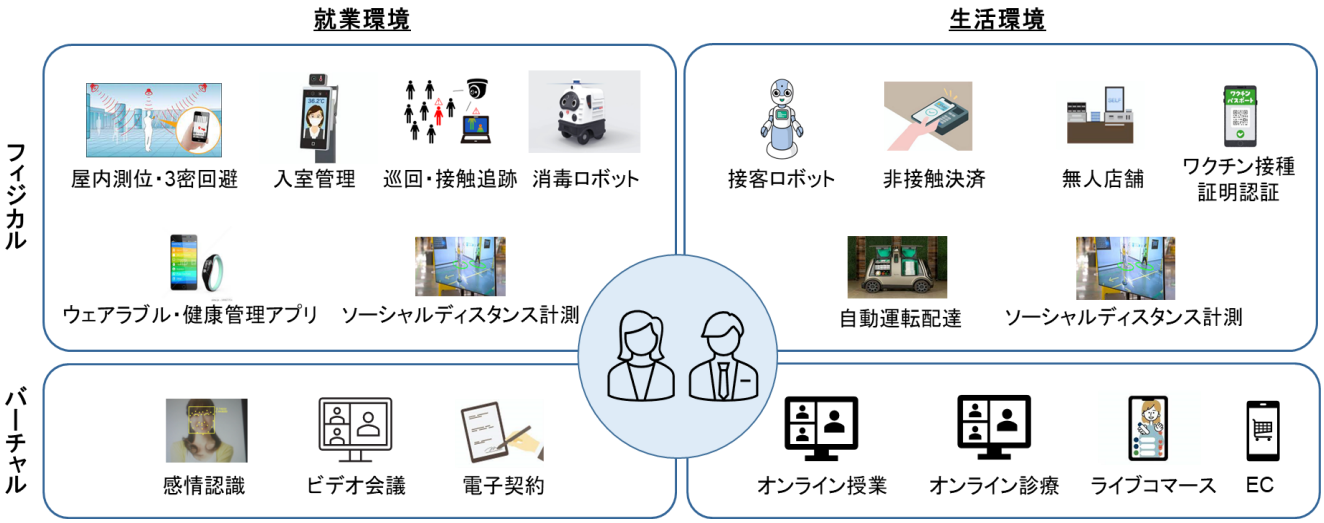
入室管理はもちろんのこと、屋内における3密回避やソーシャルディスタンス計測ツール、消毒ロボットも登場している。また、センサーやカメラを活用したコロナ感染者の行動履歴や接触追跡、ウェアラブルやアプリを使った従業員の健康管理を進める企業も出てきている。

■ 生活環境のデジタル化

私たちの生活環境においても、同様の取り組みがなされている。オンライン授業は高等教育機関のみならず、小学校でも提供されており、また、ECやライブコマースの利用は大幅に拡大している。

さらに、買い物や食事など店舗を訪れた際も、人との接触を極力減らす動きも確認できる。無人店舗、接客ロボットや非接触決済システムを導入している店舗も急激に広がった。海外では、入店時のワクチン接種証明の提示が必要であったり、ソーシャルディスタンス計測機を設置しているショップもある。

【ポストコロナ社会における非接触デジタル環境】



■ デジタルによるつながりがより重要に

デジタル化は、就業環境と生活環境の両面において、これまで以上に企業と従業員、企業と顧客を直接つなぐ環境になることを意味する。これからの企業は、顧客と従業員に対して、どのような価値を提供すべきか、それを実現するためには、どのようなデータを収集し活用するのか、ビジネスデザインを明確にする必要がある。

■ 終わりに

SVPジャパンでは、会員様向けサービスを通じて、世界のビジネス情報や市場データ、技術動向、成功事例などをご提供させていただきます。新サービス「SVPナレッジ(ニュースリリース参照)」においては、テクノロジー関連の市場調査レポートも提供します。是非、当社サービスの利用をご検討ください。

© SVP Japan All rights reserved.

ーSVP JAPANのサービスについてー

2営業日内に調査結果をご報告

クイックリサーチ

詳しくはこちら

カスタムメイドのリサーチサービス

プロジェクトリサーチ

詳しくはこちら

ー各種お問い合わせー

資料ダウンロード

こちらをクリック

お問い合わせ

こちらをクリック

s'il vous plaît SVP JAPAN
株式会社SVPジャパン

まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL：03-3249-0771

© SVP Japan All rights reserved.